

歴史

⑧ 室町時代

(1) 室町時代②

1. 室町時代、農業では、鎌倉時代にはじまった(①)が全国に広がった。
2. 田畑の耕作に(②)を、かんがい(③)を、肥料に(④)を使うようになり収穫が増えた。
3. 室町時代、商業も盛んになり、(⑤)が各地で開かれ回数も増えた。取引には中国から輸入された(⑥)や(⑦)が使われた。



4. 運送業も盛んになり、馬の背に荷物を積んで運ぶ(⑧)、牛などの車を引かせて運搬する(⑨)が活躍した。
5. 港には、運送業者を兼ねた倉庫業者の(⑩)が活動した。
6. 交通の要所には、通行税をとるために(⑪)が設けられた。
7. 京都や奈良では、(⑫)や(⑬)が金貸し業を営んで栄えた。
8. 商工業者や金貸しなどは、同業者ごとに(⑭)と呼ばれる団体をつくり、武士や貴族、寺社などに税を納めて営業を独占する権利を認められた。
9. 京都や堺、博多では、(⑮)と呼ばれる裕福な商工業者によって都市の政治が行われた。
10. 農村では、(⑯)と呼ばれる組織がつくられ、村の有力者や年長者が中心となって寄り合いを開き、村のおきてを定めた。
11. (⑯)によって結びつきを固めた農民は、年貢を減らす交渉をしたり、借金の帳消しを求める(⑰)をおこしたりした。代表的なものに1428年に徳政令を要求して近江や京都で(⑱)がおこった。

問題	解答	問題	解答
①	二毛作	⑩	問
②	牛馬	⑪	関所
③	水車	⑫	土倉
④	堆肥	⑬	酒屋
⑤	定期市	⑭	座
⑥	宋銭	⑮	町衆
⑦	明銭	⑯	惣
⑧	馬借	⑰	土一揆
⑨	車借	⑱	正長の土一揆

(2) 室町時代③

- 第8代将軍(①)のときに、将軍の跡継ぎ争いで有力な守護大名の細川氏と山名氏が対立すると1467年に(②)がおこった。
- (②)のあと、幕府の支配力がおとろえ、家来が主人に打ち勝つ(③)の風潮が広がった。
- 1485年京都府南部で、武士と農民とが一体となって守護大名を追い払う(④)がおこった。
- 1488年石川県で、浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民が(⑤)をおこした。
- 守護大名が成長したり、守護大名の地位を奪って実権を握ったりして、(⑥)が各地に登場し、実力で領国を治めた。
- (⑥)は領国の武士や農民を統制するために(⑦)という独自の法律をつくった。
- (⑥)は(⑧)に家臣を住まわせ、商工業者を呼び寄せた。
- 第3代将軍足利義満のころの文化で、公家文化と武家文化の融合した優美で華やかな文化を(⑨)という。



- (⑨)文化の代表的建築物に(⑩)があり、(⑪)でつくられていて、舍利殿には入ることはできない。

がっこのおとこ

中学生 問題集



10. 平安時代から祭りのときに農民によっておこなわれてきた猿楽は、足利義満に保護された(⑫)・(⑬)によって(⑭)として大成された。
11. (⑭)は歴史上の人物や神話などを演じるのに対し、(⑭)の合間に庶民の日常を描いた(⑮)が演じられた。
12. 貴族の文化であった和歌から、複数の人が歌をつないでいく(⑯)が生まれた。
13. 宋から禅宗とともに伝わった茶の習慣は、(⑰)として流行した。
14. 第8将軍足利義政のころの文化で、禅宗の影響を受けた「わび・さび」の美意識が中核にある質素で落ち着いた文化を(⑱)という。



15. (⑱)文化の代表的建築物に(⑲)があり、観音殿には通常入ることができない。



16. (19)は畳を敷き、襖や障子で部屋を区切る(20)でつくられている。
17. 和紙に墨一色の濃淡で描く絵画を(21)という。
18. (21)を大成したのは誰か。(22)
19. 室町時代、大衆が楽しむ文化が生まれた。「一寸法師」「浦島太郎」などの(23)と呼ばれる絵本がつくられた。

問題	解答	問題	解答
①	足利義政	⑬	世阿弥
②	応仁の乱	⑭	能
③	下剋上	⑮	狂言
④	山城国一揆	⑯	連歌
⑤	加賀の一向一揆	⑰	茶の湯
⑥	戦国大名	⑱	東山文化
⑦	分国法	⑲	銀閣
⑧	城下町	⑳	書院造
⑨	北山文化	㉑	水墨画
⑩	金閣	㉒	雪舟
⑪	寝殿造	㉓	御伽草子
⑫	観阿弥		